

徒然草

②

1

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

徒然草

神無月のころ、栗栖野といふ所を過ぎて、ある山里にたづね入ることはべりしに、はるかなる苔の細道を踏み分けて、心細く住みなしたるいほりあり。木の葉にうづもるるかけひのしづくならでは、つゆおとなふものなし。関伽棚に菊・紅葉など折り散らしたる、さすがに住む人のあればなるべし。

② かくてもあられけるよ、とあはれに見るほどに、かなたの庭に、大きな柑子の木の、枝もたわわになりたるがまはりをきびしく囲ひたりしこそ、少しことさめて、この木なからましかば、と覚えしか。

(第十一 段)

(1) ①はだれの動作ですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 作者 イ 作者の同行者 ウ 「いほり」の住人

(2) ②とありますが、作者はどんな点に感動したのですか。

最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 不便な場所で一切他人に頼らず暮らしている点。
 イ 自然のものだけを有効に活用して暮らしている点。
 ウ 質素な中にも風情のある様子で暮らしている点。
 エ 自然にまかせて荒れ放題の中で暮らしている点。

(3) ③とありますが、作者がこのように思ったのはなぜですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 木がなければ、趣味のよい庭をもつと見渡すことができるから。
 イ 人があまり訪れないような場所にはそぐわない木だったから。
 ウ 「いほり」の風情を損なってしまうような木を植えているから。

エ 木に実ったみかんを取られまいとする住人の欲が感じられたから。

(4) ③のあとには、どんな言葉が補えますか。現代語で答えなさい。

かかった時間 正解数
分

組 番 名前

1

- (1) ア
 (2) ウ
 (3) エ
 (4) (例) よかつたのに

間違った問題を確認してみよう！

1

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。
 徒然草

神無月のころ、栗栖野といふ所を過ぎて、ある山里にたづね入ることはべりしに、はるかなる苔の細道を踏み分けて、心細く住みなしたるいほりあり。木の葉にうづもるるかけひのしづくならでは、つゆおとなふものなし。関枷棚に菊・紅葉など折り散らしたる、さすがに住む人のあればなるべし。

かくてもあられけるよ、とあはれに見るほどに、かなたの庭に、大きな柑子の木の、枝もたわわになりたるがまはりをきびしく囲ひたりしこそ、少しことさめて、この木なからましかば、と覚えしか。

(第十一段)

(1) ①はだれの動作ですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。
 ア 作者 イ 作者の同行者 ウ 「いほり」の住人

(2) ②とありますが、作者はどんな点に感動したのですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 不便な場所ですべて他人に頼らず暮らしている点。
 イ 自然のものをだけ有効に活用して暮らしている点。
 ウ 質素な中にも風情のある様子で暮らしている点。
 エ 自然にまかせて荒れ放題の中で暮らしている点。

(3) ③とありますが、作者がこのように思ったのはなぜですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 木がなければ、趣味のよい庭をもつと見渡すことができるから。
 イ 人があまり訪れないような場所にはそぐわない木だったから。
 ウ 「いほり」の風情を損なってしまうような木を植えているから。

エ 木に実ったみかんを取られまいとする住人の欲が感じられたから。

(4) ③のあとには、どんな言葉が補えますか。現代語で答えなさい。